

『だれもがともに』白梅連続講座

—— 発達障害児・気になる子たちを考える ——

講師：加我 牧子 無藤 隆
杉山 貴洋 各氏

〔開催目的〕発達障害児や気になる子どもたちなどの保育・教育ニーズの高い子どもたちが保育や教育現場で増えているが、現場や行政はその状況を的確に把握し、支援することがなかなかできない。対応できる人材がなかなかいない。地域での支援の体制は不十分です。大学にも、こうした課題に対応できる人材養成と地域での子どもや親た

ちへの支援が求められている。白梅学園大学・短期大学は10年前から「発達・教育相談室」を設け、教員や学生たちも子どもたちと関わり、発達障害児の支援や親の相談にあたってきた。その積み重ねの上に相談、支援、調査研究体制を強化、その柱の一つとして今年度から連続講座をスタートさせ、2006年度で3回開催した。

◆第一回：平成18年7月1日(土) 13:00～15:00

◆講師：加我牧子・国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部部长

◆テーマ：「医学的知見からみた発達障害・気になる子どもたち」

◆第二回：7月29日(土) 13:30～15:00

◆講師：無藤隆・本学学長

◆テーマ：「保育・教育現場での動向と気になる子たちにどう向き合うか」

◆第三回：10月14日(土) 14:00～16:00

◆講師：杉山貴洋・本学専任講師

◆テーマ：「表現としてのワークショップ」

以上3回の講座には、障害児・者の親、保育者、市民ら第一回76人、第二回87人、第三回27人が参加。障害児に関わる親や保育者から「実践的でよかった。ぜひ続けてほしい」との声が出された。

(山路 憲夫)